

## アイダホ州：小麦作柄と気象状況

2002年4月30日

農作業可能日は平均 5.7 日であった。週の終わりに掛け降雨があり農作業が止まった。全州に亘り気温が平年を下回った。東部地区では時速 77 マイルの突風の為表土のエロージョンが起こり、播種された春小麦が飛散する被害が出ている。土壌 (topsoil) 水分は先週より悪化したが、昨年状況よりは良いと言える。下がり、各地で降水が見られた。春小麦の出芽状況は、天候不順による播種の開始が遅れた事、平年以下の気温等に因り、5年平均より遅れている。冬小麦の生育状況は、62%の圃場が平年並みである。

2002年4月28日現在

土壌水分：

	Very Short	Short	Adequate	Surplus
Topsoil (%)	1	22	74	3
Subsoil (%)	na	na	na	na

灌漑用水：

	Very poor	Poor	Fair	Good	Excellent
Water supply (%)	2	14	55	27	2

小麦作柄：

	Very poor	Poor	Fair	Good	Excellent
Winter wheat (%)	0	8	23	62	7
Spring wheat (%)	na	na	na	na	na

小麦進捗状況：

春小麦の出芽状況は、播種の開始が遅れた事、先週の気温が低かった事で遅れ気味である。

	North			S. W.			S. Cent.			State		
	A	B	Ave	A	B	Ave	A	B	Ave	A	B	Ave
Spring wheat Planted (%)	58	25	45	99	100	99	90	100	97	62	61	70
Emerged (%)	9	3	15	99	99	90	39	74	78	21	31	38

A: 2002、B: Last year、Ave.: 5-yr Ave.

Source: Idaho Agricultural Statistics Service